

## 2017年 結果の概況

## 目 次

## I ネットショッピングの状況

1 ネットショッピング利用世帯の割合は上昇	3
2 ネットショッピング支出金額は増加	4
3 「出前」の支出金額が増加した「食料」	6
4 「紳士用衣類」の支出金額が増加した「衣類・履物」	8
5 ネットショッピング支出割合が最も高いのは「旅行関係費」で22.9%	10

## II 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネー利用世帯の割合は前年に比べ1.6ポイントの上昇	11
2 電子マネー利用金額は増加	12
3 電子マネー利用金額は、世帯主が50歳代の世帯が最も多い	13

## III 品目別支出の状況

1 旅行関係	14
2 衣類関係	16
3 白物家電	18
4 黒物家電	20
5 ゲーム機（ソフトは除く）	22
6 自動車購入（新車）	24

### ＜参考＞ 2017年の家計をめぐる主な動き

#### 所得・消費関係

- ・ 毎月の月末金曜日にいつもより少し豊かな時間を過ごし、消費活性化などにつなげる「プレミアムフライデー」の取組が開始（2月）
- ・ 酒類の過度の安売りを規制する改正酒税法が施行され、ビールやウイスキーの値上げが相次ぐ。規制強化前の駆け込み需要の反動もあり、販売数量が減少（6月）
- ・ 最低賃金が25円引上げ。比較可能な2002年以降最大の上げ幅（7月）
- ・ 公的年金の受給に必要な制度への加入期間が、これまでの25年間から10年間に短縮（8月）
- ・ 大手自動車メーカーの無資格者による検査が発覚（9月）。登録車及び軽自動車販売に打撃（10月以降）
- ・ 2012年12月から続く景気拡大が2017年9月で58か月に達し、戦後2番目に長い「いざなぎ景気」超え
- ・ 11月7日の終値は2万2937円と日経平均株価がバブル崩壊後の高値を更新。好調な企業業績を受け25年10か月ぶりの水準に
- ・ 米の生産量を決める減反政策が2017年で終了することを受け、農家が高単価のブランド米や補助金が交付される飼料用米に生産をシフト。業務用米の不足感が強まり、パックご飯や牛丼など、中食や外食で使う米の価格が高騰
- ・ 海水温など海洋環境の変化により、さんま、さけ、スルメイカなどが記録的不漁。魚介類の価格が高騰

#### 直接税・社会保険料関係

- ・ 介護保険第2号保険料率の引上げ（3月）
- ・ 国民年金保険料の引上げ（4月）
- ・ 雇用保険料率の引下げ（4月）
- ・ 厚生年金保険料率の段階的な引上げ終了。以降は18.3%で固定（9月）

#### その他

- ・ 総務省がふるさと納税に係る返礼品の返礼割合について、寄附額の3割以下とするよう全国の地方団体に要請（4月）
- ・ じゃがいもの不作を受け、ポテトチップスが店頭で品薄になる「ポテチショック」が拡大（4月）
- ・ 将棋棋士の藤井聡太氏が将棋公式戦で29連勝し、30年ぶりに連勝記録を更新（6月）。将棋教室に通う子供が増加し、将棋ゲームなどの売上げが拡大
- ・ 『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』（福岡県）の世界遺産一覧表への記載が決定（7月）
- ・ 九州北部で記録的大雨を観測（平成29年7月九州北部豪雨）
- ・ 生鮮の魚介類に寄生する「アニサキス」や高温多湿などの影響により、各地で食中毒が多発
- ・ 家庭用ゲーム機「Nintendo Switch™（ニンテンドースイッチ）」の売れ行きが好調。3月の発売当初から国内市場全体で品薄状態が継続
- ・ 訪日外国人旅客数が、前年（2016年）の2404万人を450万人以上上回る2869万1千人と過去最多。なお、1人当たりの旅行支出は前年に比べ減少

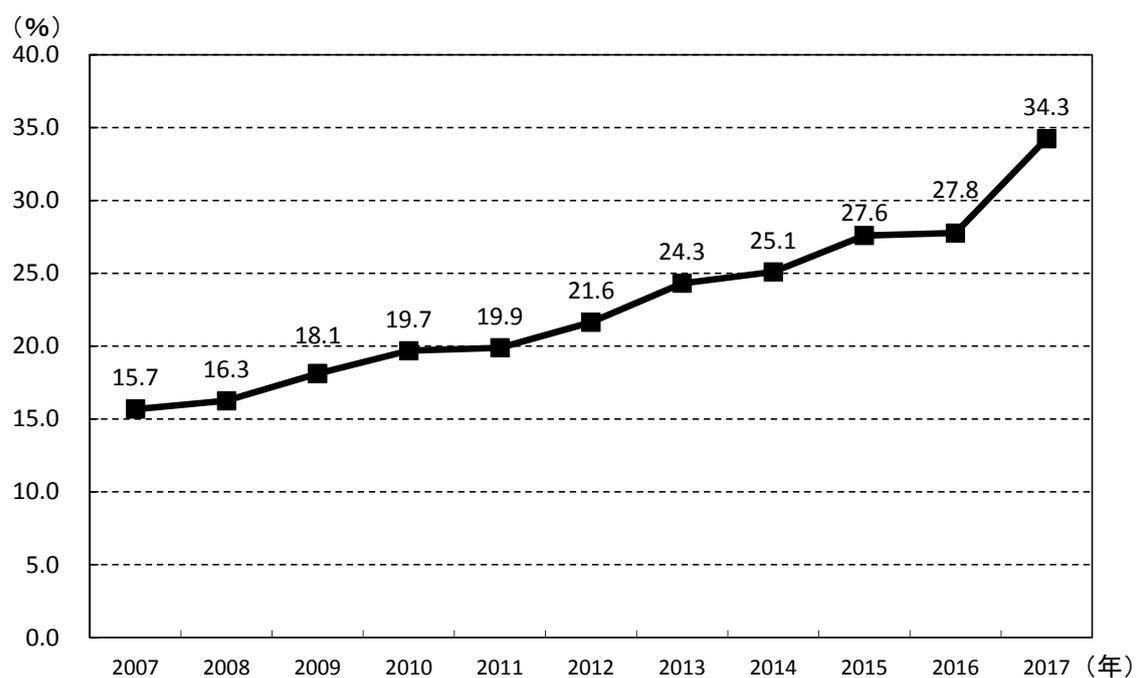
## 2017年 結果の概況

### I ネットショッピング※1の状況

#### 1 ネットショッピング利用世帯の割合は上昇

二人以上の世帯におけるネットショッピングを利用した世帯の割合は、2017年は34.3%と10年前（15.7%）に比べて18.6ポイント上昇している。（図I-1）

図I-1 ネットショッピング利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）－2017年



※1 ネットショッピングとは、世帯におけるインターネットを通じた財（商品）やサービスの購入をいう。

## 2 ネットショッピング支出金額は増加

二人以上の世帯における 2017 年のネットショッピングの支出金額は、1 か月平均 10,586 円で、前年に比べ 24.0%の増加となった。

項目別に前年と比べてみると、「保健・医療」が 30.4%、「旅行関係費」が 29.8%の増加となるなど、全ての項目で増加となった<sup>※2</sup>。(表 I-2-1, 図 I-2-1)

世帯主の年齢階級別に前年と比べてみると、70 歳以上が 32.5%、60~69 歳が 27.8%の増加となるなど、全ての年齢階級で増加となった。(表 I-2-2, 図 I-2-2)

表 I-2-1 ネットショッピング支出金額  
(二人以上の世帯)

年次	合計	注1 旅行関係費	食料	衣類・履物	注2 教養関係費	家電・家具	注3 保健・医療	贈答品	保険	注4 その他
月平均額(円)										
2016年	8,535	1,872	1,250	901	832	875	398	398	380	1,630
2017年	10,586	2,429	1,516	1,138	1,059	941	519	470	422	2,093
名目増減率(%)										
2017年	24.0	29.8	21.3	26.3	27.3	7.5	30.4	18.1	11.1	28.4

図 I-2-1 ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率  
(二人以上の世帯) - 2017 年

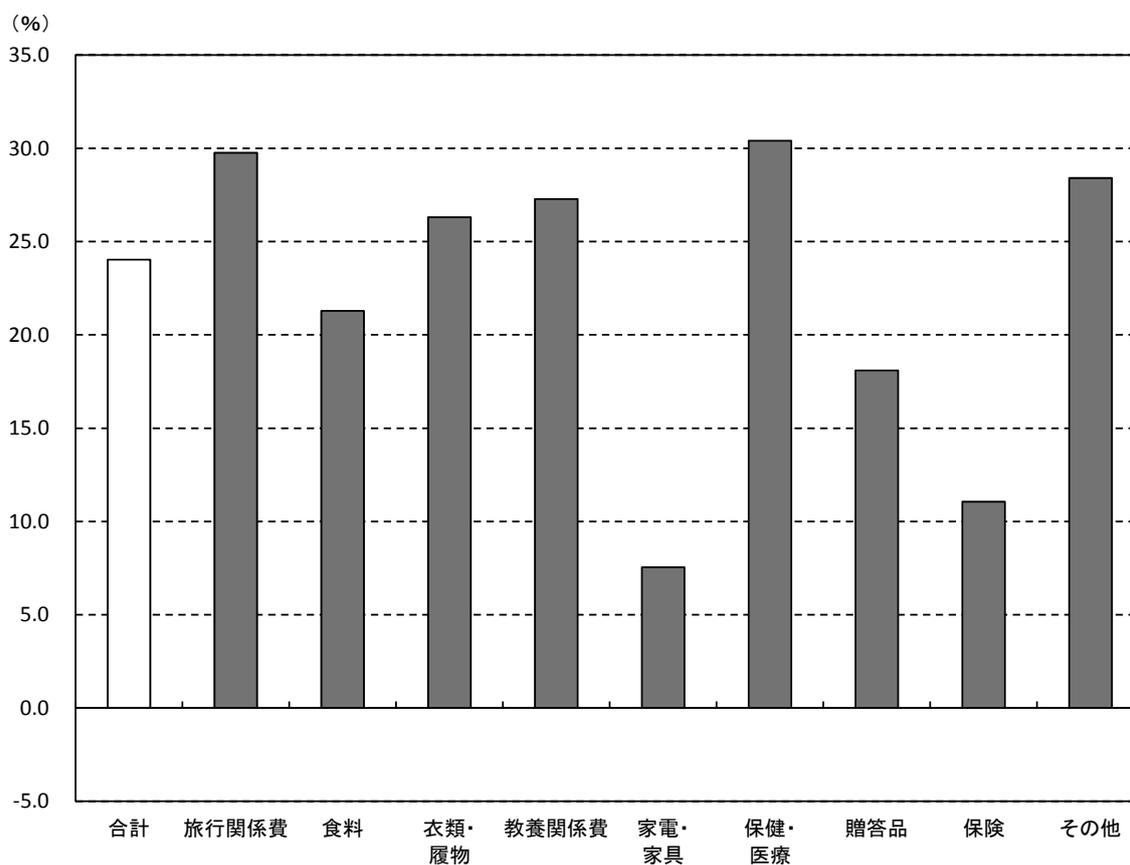
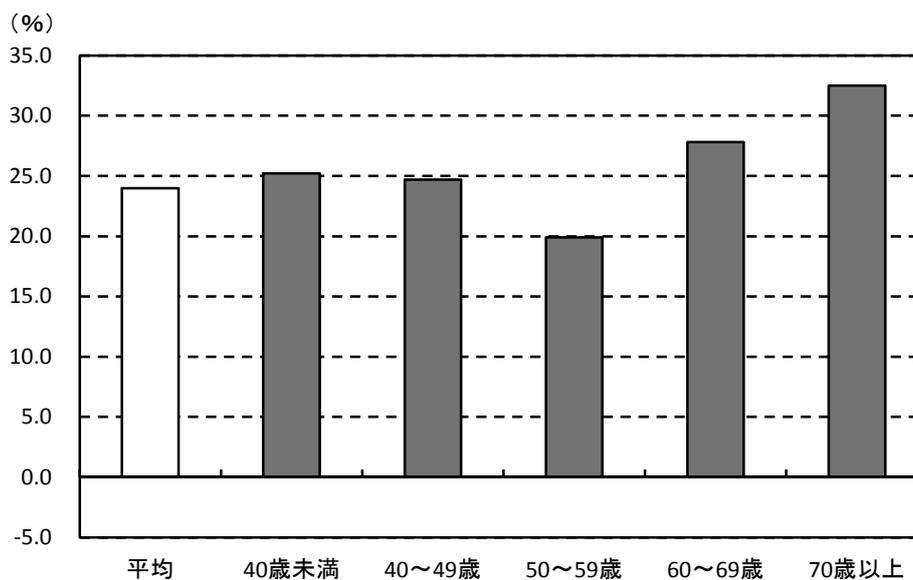


表 I-2-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額  
(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	8,535	11,921	12,220	13,212	7,381	3,565
2017年	10,586	14,928	15,242	15,842	9,435	4,723
名目増減率(%)						
2017年	24.0	25.2	24.7	19.9	27.8	32.5

図 I-2-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率  
(二人以上の世帯) - 2017年



注1 旅行関係費：「宿泊料」，「運賃」及び「パック旅行費」の合計

注2 教養関係費：「書籍」，「音楽・映像ソフト」，「パソコン用ソフト」，「ゲームソフト」，「デジタルコンテンツ」  
及び「チケット」の合計

注3 保健・医療：「医薬品」及び「健康食品」の合計

注4 その他：「化粧品」，「自動車等関係用品」及び「上記に当てはまらない商品・サービス」の合計

※2 2017年1月に調査票を変更した。このため、ネットショッピング支出金額の各項目については2016年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

### 3 「出前」の支出金額が増加した「食料」

二人以上の世帯におけるネットショッピングの支出金額の増加に大きく寄与した「食料」について、2017年の内訳を前年と比べてみると、「出前」が91.2%の増加と最も大きく増加しており、次いで「飲料」が26.1%の増加となるなど、全ての項目で増加となった。

(表 I-3-1, 図 I-3-1)

また、世帯主の年齢階級別に前年と比べてみると、40歳未満が31.3%の増加と最も大きく増加しており、次いで70歳以上が29.1%の増加となるなど、全ての年齢階級で増加となった。(表 I-3-2, 図 I-3-2)

表 I-3-1 ネットショッピング支出金額 -食料-  
(二人以上の世帯)

年次	合計	食料品	飲料	出前
月平均額(円)				
2016年	1,250	959	234	57
2017年	1,516	1,111	295	109
名目増減率(%)				
2017年	21.3	15.8	26.1	91.2

図 I-3-1 ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 -食料-  
(二人以上の世帯) -2017年

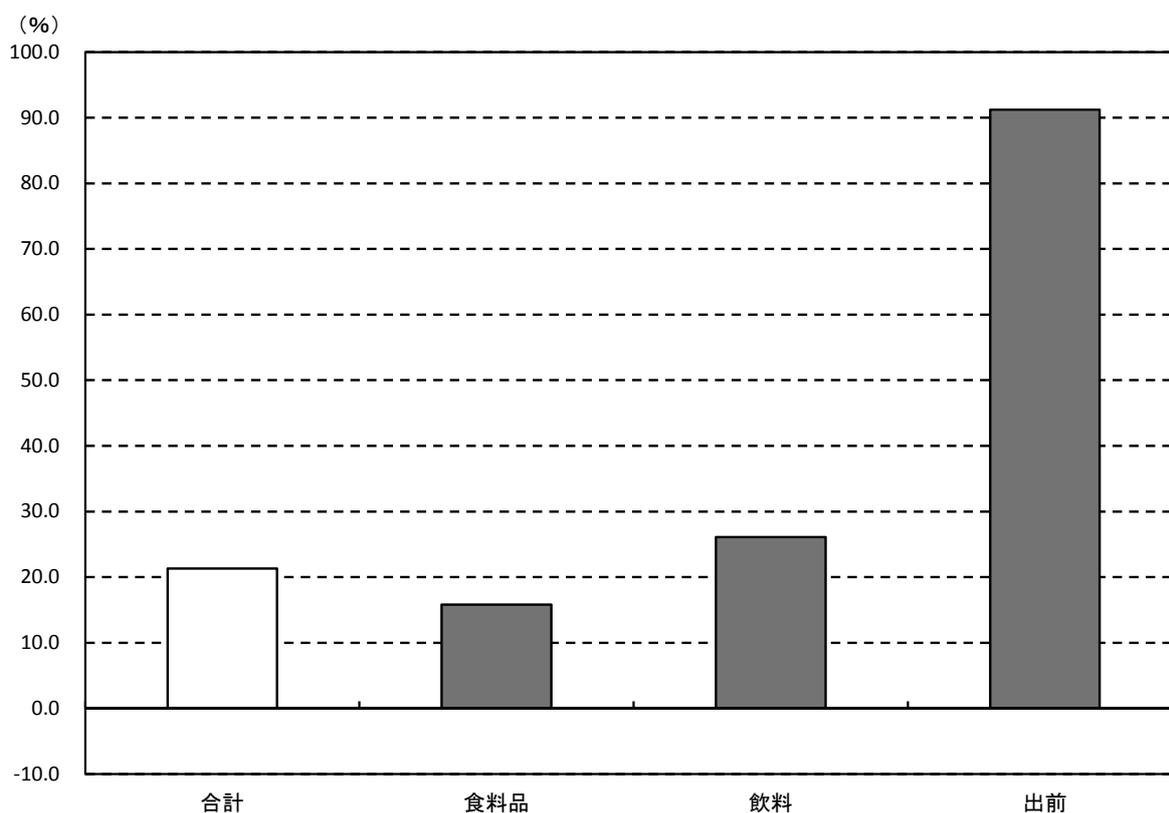
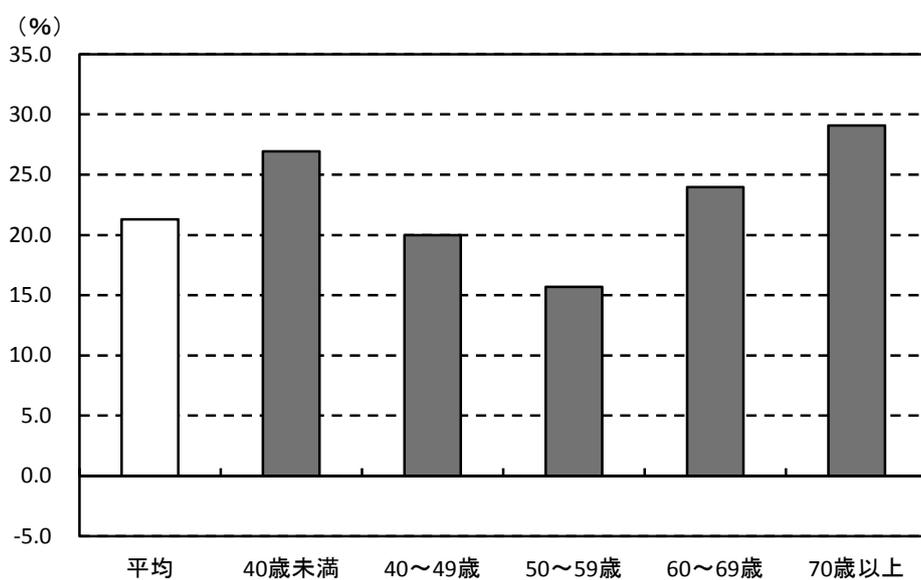


表 I-3-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額 -食料-  
(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	1,250	1,633	1,702	1,942	1,072	612
2017年	1,516	2,144	2,042	2,247	1,329	790
名目増減率(%)						
2017年	21.3	31.3	20.0	15.7	24.0	29.1

図 I-3-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 -食料-  
(二人以上の世帯) -2017年



#### 4 「紳士用衣類」の支出金額が増加した「衣類・履物」

二人以上の世帯におけるネットショッピングの支出金額の増加に大きく寄与した「衣類・履物」について、2017年の内訳を前年と比べてみると、「紳士用衣類」が33.2%の増加と最も大きく増加しており、次いで「婦人用衣類」が31.7%の増加となるなど、全ての項目で増加となった。(表I-4-1, 図I-4-1)

また、世帯主の年齢階級別に前年と比べてみると、70歳以上が32.6%の増加と最も大きく増加しており、次いで50～59歳が29.4%の増加となるなど、全ての年齢階級で増加となった。(表I-4-2, 図I-4-2)

表I-4-1 ネットショッピング支出金額 -衣類・履物-  
(二人以上の世帯)

年次	合計	紳士用衣類	婦人用衣類	履物・ その他の衣類
月平均額(円)				
2016年	901	187	441	273
2017年	1,138	249	581	309
名目増減率(%)				
2017年	26.3	33.2	31.7	13.2

図I-4-1 ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 -衣類・履物-  
(二人以上の世帯) -2017年

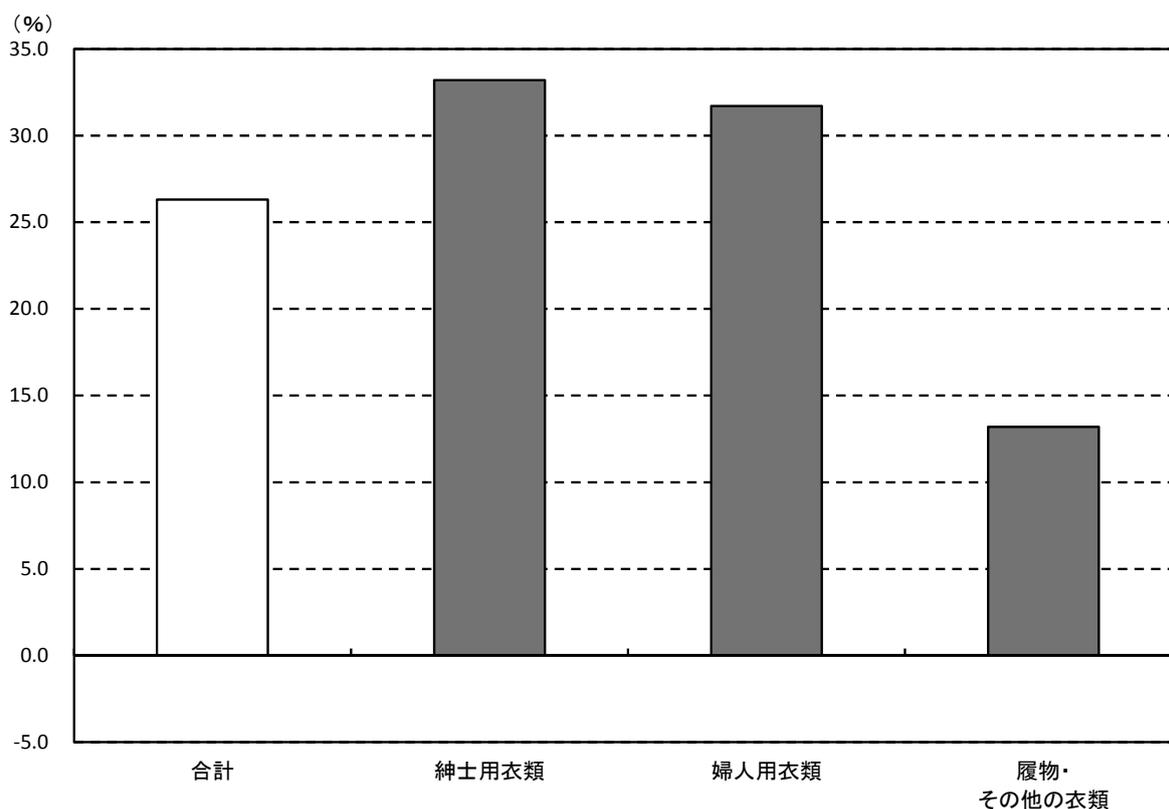
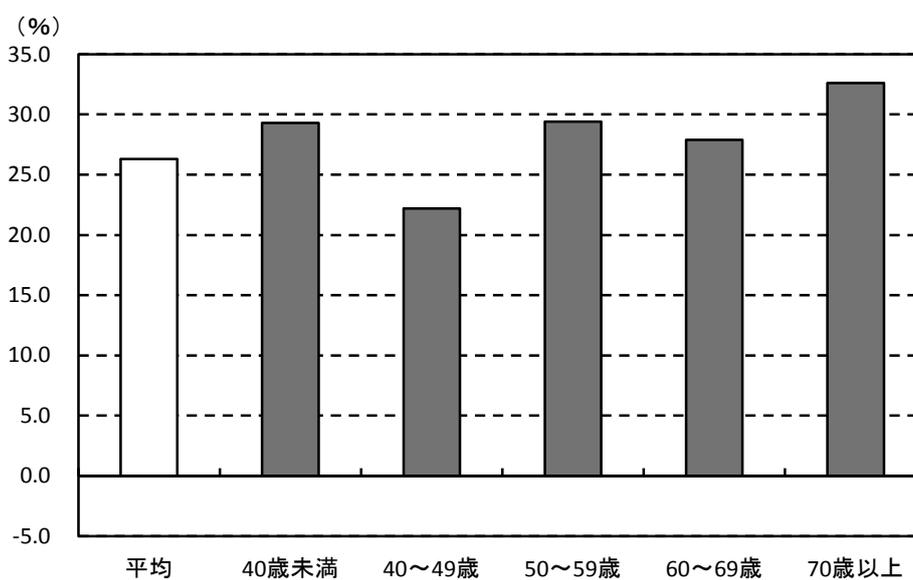


表 I-4-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額 —衣類・履物—  
(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	901	1,716	1,619	1,355	623	273
2017年	1,138	2,219	1,979	1,754	797	362
名目増減率(%)						
2017年	26.3	29.3	22.2	29.4	27.9	32.6

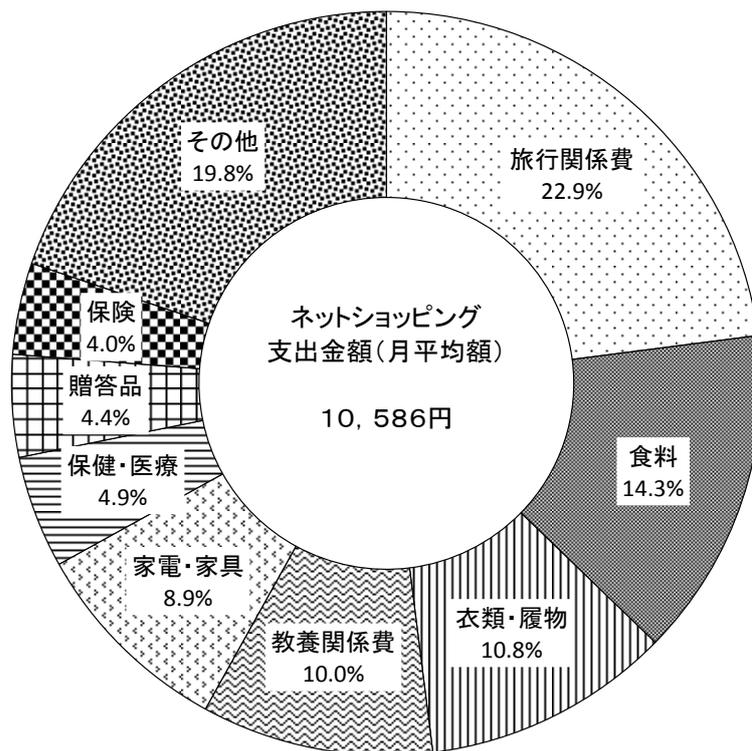
図 I-4-2 世帯主の年齢階級別ネットショッピング支出金額の対前年名目増減率 —衣類・履物—  
(二人以上の世帯) —2017年



## 5 ネットショッピング支出割合が最も高いのは「旅行関係費」で22.9%

二人以上の世帯における2017年のネットショッピングの支出金額についてその内訳の構成比をみると、「旅行関係費」の支出が22.9%と最も高く、次いで「食料」が14.3%、「衣類・履物」が10.8%、「教養関係費」が10.0%、「家電・家具」が8.9%などとなっている。(図I-5)

図I-5 ネットショッピング支出割合  
(二人以上の世帯) - 2017年



## Ⅱ 電子マネーの保有・利用状況

### 1 電子マネー利用<sup>※3</sup>世帯の割合は前年に比べ1.6ポイントの上昇

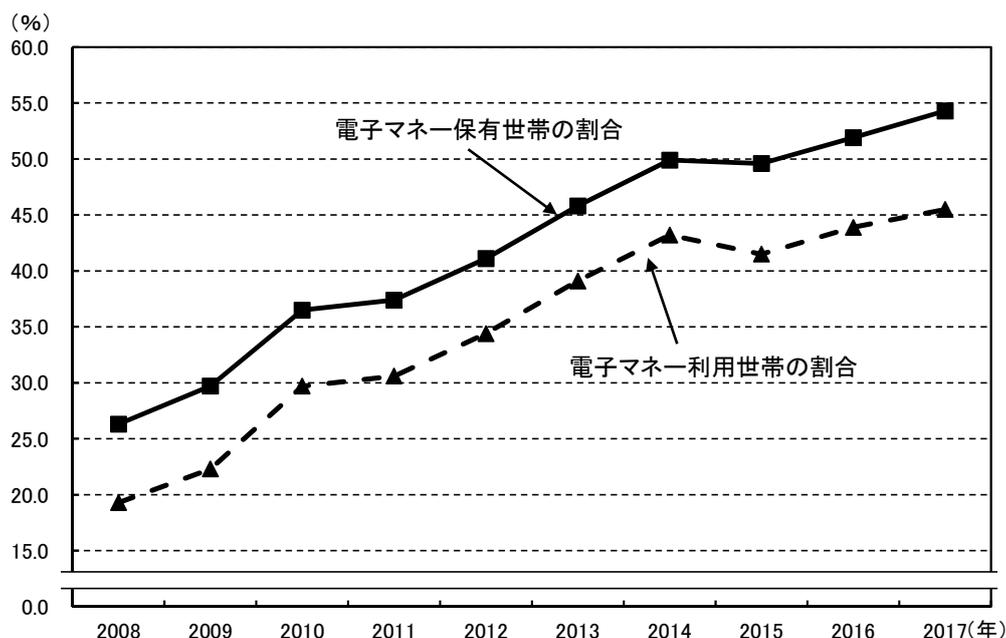
二人以上の世帯における2017年の電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は54.3%で、前年に比べ2.4ポイントの上昇となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は45.5%で、前年に比べ1.6ポイントの上昇となった。（表Ⅱ－1，図Ⅱ－1）

表Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯	電子マネー 利用世帯
割合(%)		
2008年	26.3	19.3
2009	29.7	22.3
2010	36.5	29.7
2011	37.4	30.6
2012	41.1	34.4
2013	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5

図Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※3 この調査での「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）の利用をいう。

例) Suica, ICOCA, PASMO, nanaco, WAON, 楽天Edy, WebMoney, BitCash, クオカードなど

なお、デビットカードの利用や、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスの利用は含まない。

また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等の利用も含まない。

## 2 電子マネー利用金額は増加

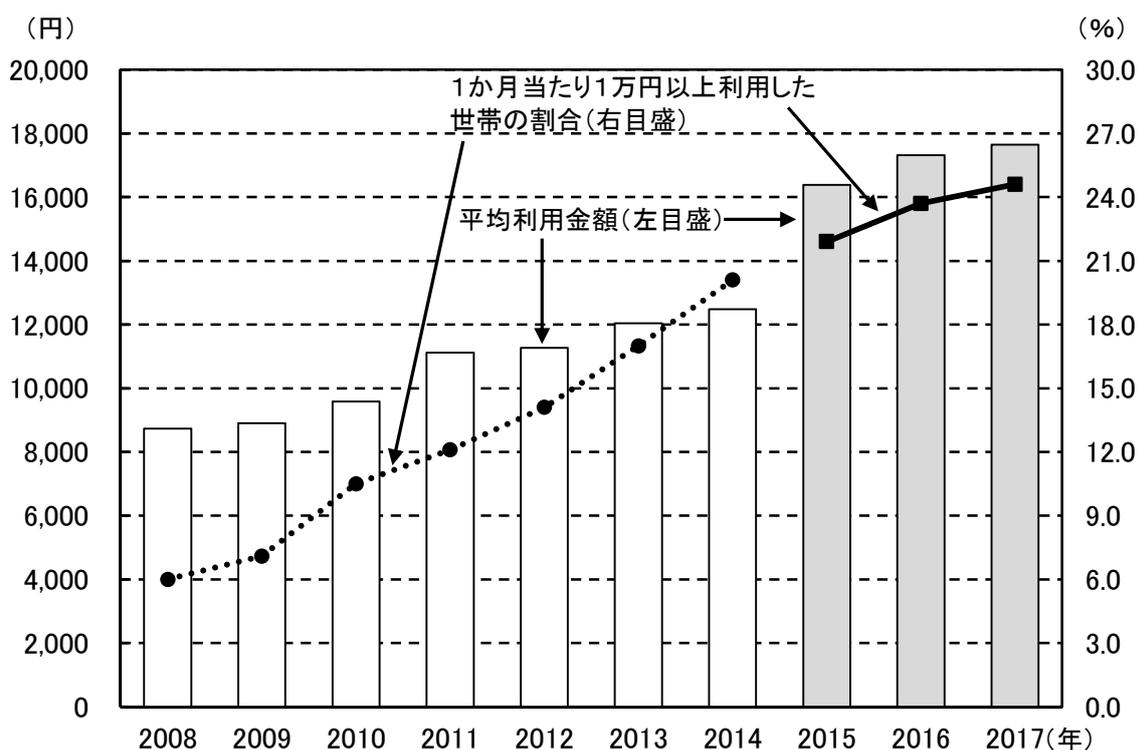
電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における 2017 年の電子マネーの利用金額は、1 か月平均 17,644 円で、前年に比べ 1.9%の増加となった※4。

また、電子マネーを 1 か月当たり 1 万円以上利用した世帯の割合は 24.6%で、前年に比べ 0.9 ポイントの上昇となった。（表Ⅱ－2，図Ⅱ－2）

表Ⅱ－2 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	1か月当たり1万円以上利用した世帯の割合(%)
2008年	8,727	6.0
2009	8,897	7.1
2010	9,588	10.5
2011	11,116	12.1
2012	11,269	14.1
2013	12,044	17.0
2014	12,480	20.1
2015	16,382	21.9
2016	17,318	23.7
2017	17,644	24.6
2017年の対前年 名目増減率(%)	1.9	-

図Ⅱ－2 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）



※4 2015年1月に調査票を変更した。このため、電子マネー利用世帯における1か月間の平均利用金額については2014年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

### 3 電子マネー利用金額は、世帯主が50歳代の世帯が最も多い

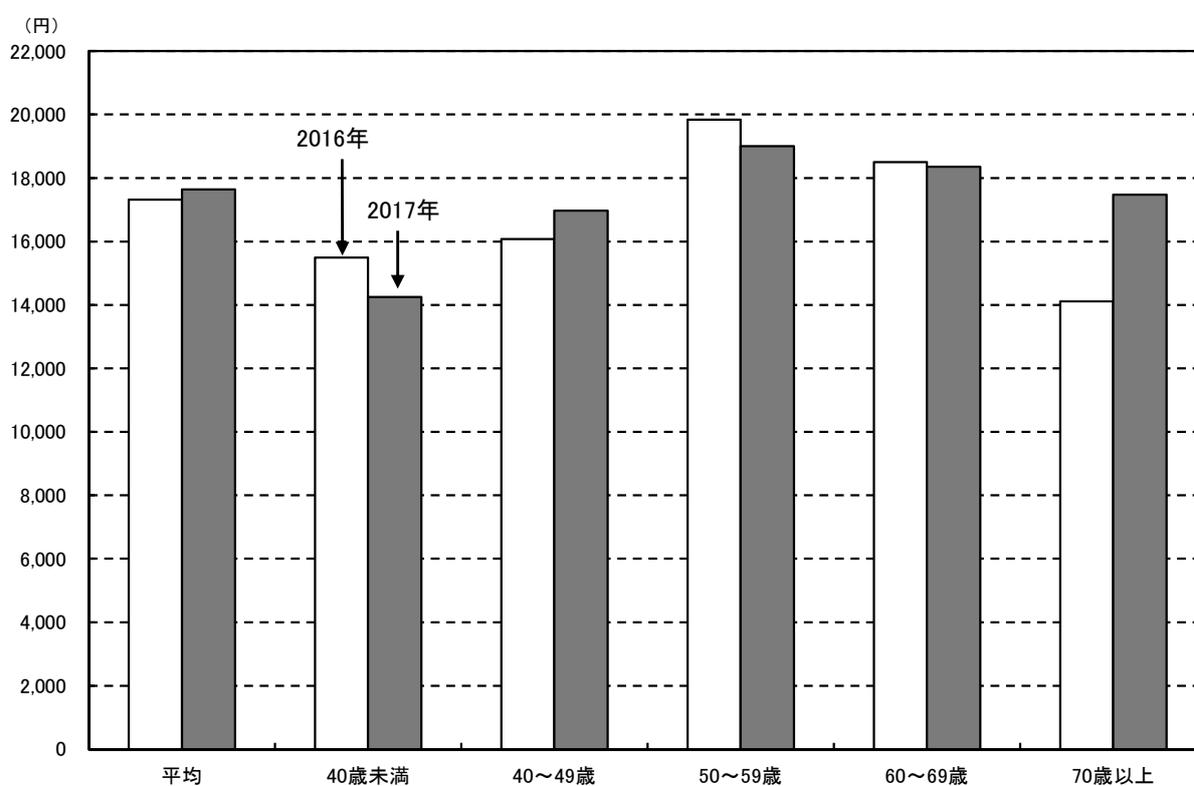
電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における2017年の電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1か月平均19,002円で最も多く、次いで60～69歳（18,356円）、70歳以上（17,478円）などとなっている。

前年と比べてみると、40～49歳及び70歳以上の年齢階級で増加となった。（表Ⅱ－3，図Ⅱ－3）

表Ⅱ－3 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	17,318	15,490	16,073	19,835	18,501	14,111
2017年	17,644	14,247	16,969	19,002	18,356	17,478
名目増減率(%)						
2017年	1.9	-8.0	5.6	-4.2	-0.8	23.9

図Ⅱ－3 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）



### Ⅲ 品目別支出の状況

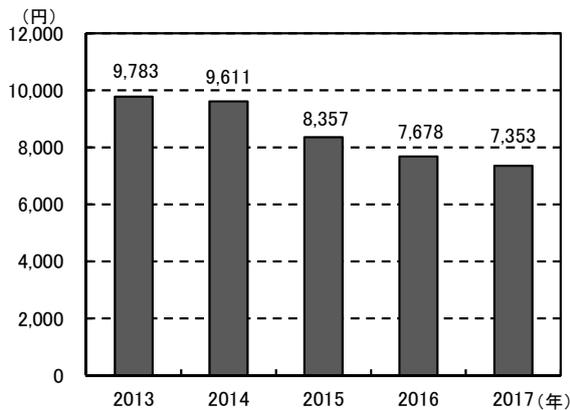
#### 1 旅行関係

二人以上の世帯における2017年の旅行関係<sup>※5</sup>の支出金額は、1か月平均7,353円で、前年に比べ名目で4.2%の減少、物価変動の影響を除いた実質で5.6%の減少となった。

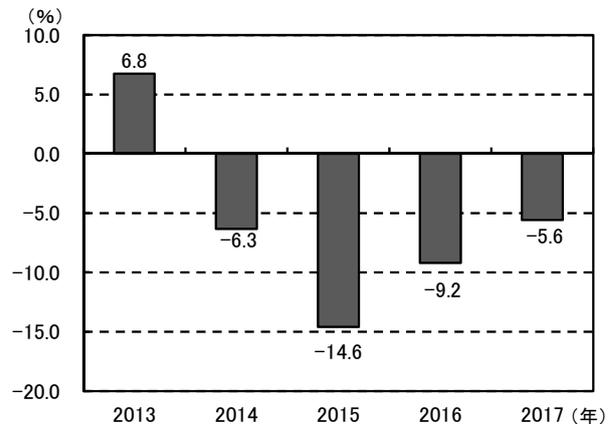
対前年実質増減率の推移をみると、2017年は前年に比べ減少幅は縮小したものの、2014年以降4年連続の実質減少となっている。

また、月別にみると、3月を除く各月で実質減少となった。(図Ⅲ-1-1、図Ⅲ-1-2、図Ⅲ-1-3、図Ⅲ-1-4)

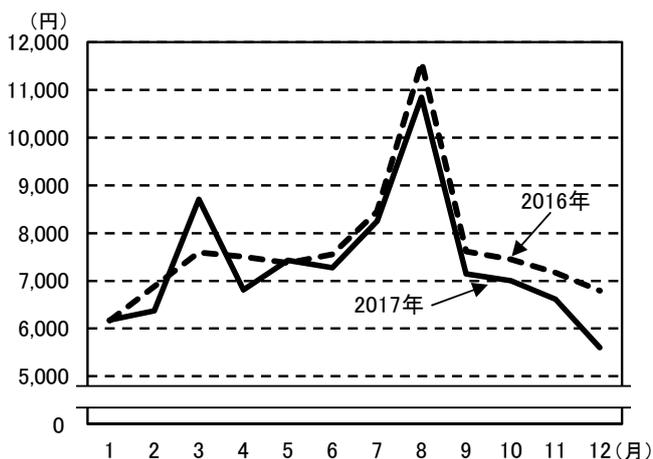
図Ⅲ-1-1 旅行関係の支出金額の推移  
(二人以上の世帯)



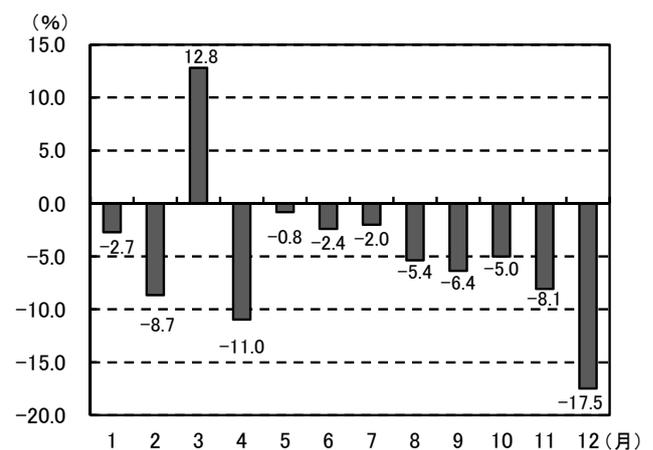
図Ⅲ-1-2 旅行関係の支出金額の対前年実質増減率の推移  
(二人以上の世帯)



図Ⅲ-1-3 旅行関係の月別支出金額の推移  
(二人以上の世帯)



図Ⅲ-1-4 旅行関係の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移  
(二人以上の世帯) -2017年



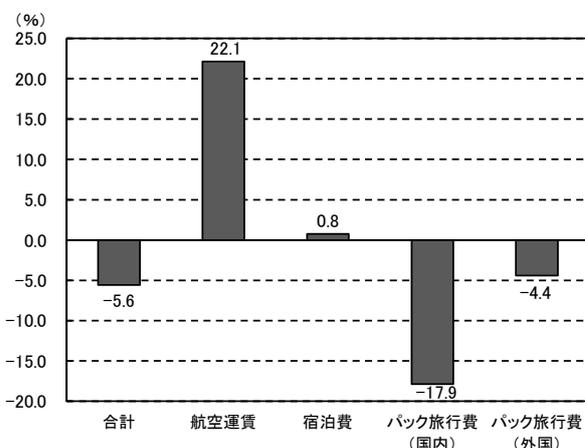
※5 「旅行関係」とは、「航空運賃」、「宿泊料」、「パック旅行費(国内)」及び「パック旅行費(外国)」の支出金額の合計をいう。

旅行関係の支出金額を項目別に前年と比べてみると、パック旅行費（国内）が 17.9% の実質減少と最も大きく減少しており、次いでパック旅行費（外国）が 4.4% の実質減少となった。（表Ⅲ－１－１， 図Ⅲ－１－５）

表Ⅲ－１－１ 旅行関係支出金額（二人以上の世帯）

年次	合計	航空運賃	宿泊費	パック旅行費 （国内）	パック旅行費 （外国）
月平均額(円)					
2016年	7,678	840	2,174	3,006	1,658
2017年	7,353	989	2,221	2,528	1,615
名目増減率(%)					
2017年	-4.2	17.7	2.2	-15.9	-2.6
実質増減率(%)					
2017年	-5.6	22.1	0.8	-17.9	-4.4

図Ⅲ－１－５ 旅行関係支出金額の対前年実質増減率（二人以上の世帯）－2017年



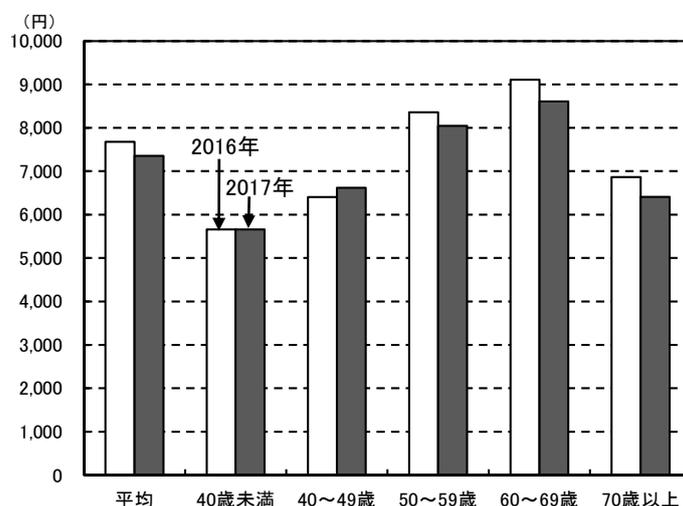
旅行関係の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、60～69歳が8,606円で最も多く、次いで50～59歳（8,044円）、40～49歳（6,617円）などとなっている。

前年と比べてみると、40～49歳を除く各年齢階級で実質減少となった。（表Ⅲ－１－２， 図Ⅲ－１－６）

表Ⅲ－１－２ 世帯主の年齢階級別旅行関係の支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	7,678	5,660	6,404	8,355	9,110	6,865
2017年	7,353	5,658	6,617	8,044	8,606	6,413
名目増減率(%)						
2017年	-4.2	0.0	3.3	-3.7	-5.5	-6.6
実質増減率(%)						
2017年	-5.6	-1.4	1.9	-5.1	-6.9	-7.9

図Ⅲ－１－６ 世帯主の年齢階級別旅行関係の支出金額（二人以上の世帯）



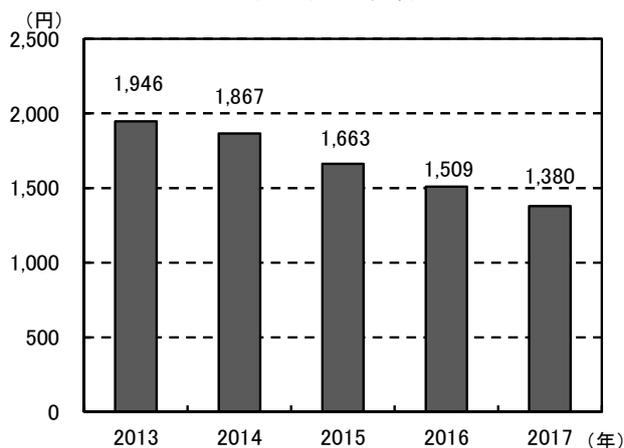
## 2 衣類関係

二人以上の世帯における2017年の衣類関係<sup>※6</sup>の支出金額は、1か月平均1,380円で、前年に比べ名目で8.5%の減少、実質で8.7%の減少となった。

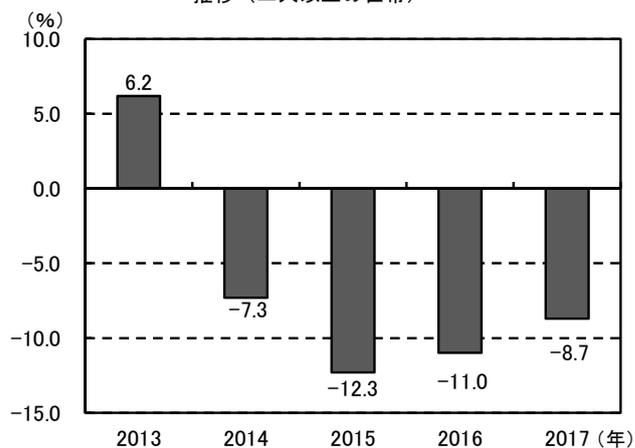
対前年実質増減率の推移をみると、2017年は前年に比べ減少幅は縮小したものの、2014年以降4年連続の実質減少となっている。

また、月別にみると、1月及び3月を除く各月で実質減少となった。(図Ⅲ-2-1, 図Ⅲ-2-2, 図Ⅲ-2-3, 図Ⅲ-2-4)

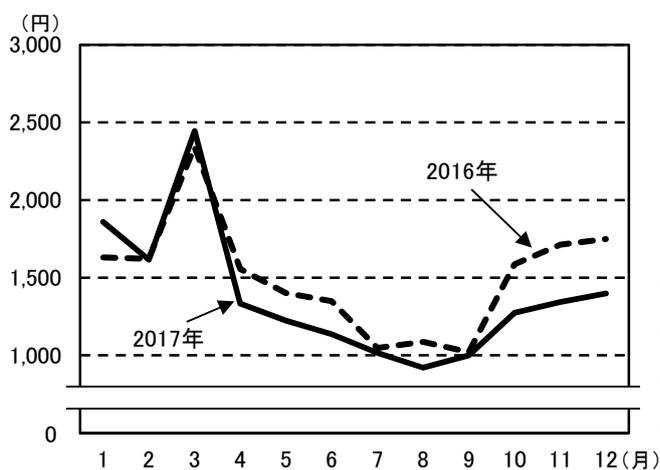
図Ⅲ-2-1 衣類関係の支出金額の推移  
(二人以上の世帯)



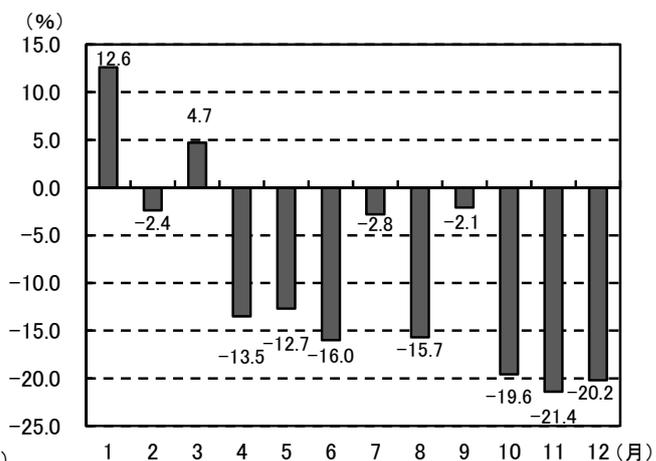
図Ⅲ-2-2 衣類関係の支出金額の対前年実質増減率の推移  
(二人以上の世帯)



図Ⅲ-2-3 衣類関係の月別支出金額の推移  
(二人以上の世帯)



図Ⅲ-2-4 衣類関係の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移 (二人以上の世帯) - 2017年



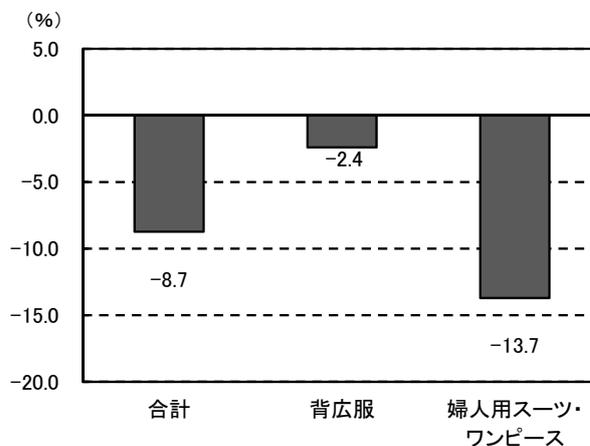
※6 「衣類関係」とは、「背広服」及び「婦人用スーツ・ワンピース」の支出金額の合計をいう。

衣類関係の支出金額を項目別に前年と比べてみると、婦人用スーツ・ワンピース、背広服ともにそれぞれ13.7%、2.4%の実質減少となった。(表Ⅲ-2-1、図Ⅲ-2-5)

表Ⅲ-2-1 衣類関係支出金額(二人以上の世帯)

年次	合計	背広服	婦人用スーツ・ワンピース
月平均額(円)			
2016年	1,509	663	846
2017年	1,380	652	728
名目増減率(%)			
2017年	-8.5	-1.7	-13.9
実質増減率(%)			
2017年	-8.7	-2.4	-13.7

図Ⅲ-2-5 衣類関係支出金額の対前年実質増減率(二人以上の世帯)-2017年



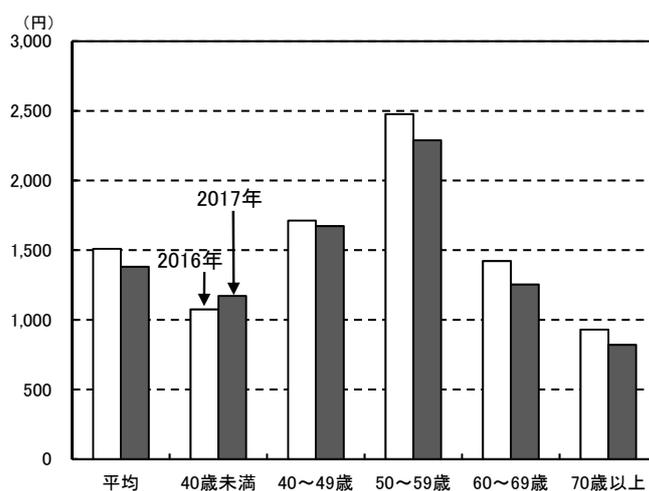
衣類関係の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が2,288円で最も多く、次いで40～49歳(1,673円)、60～69歳(1,253円)などとなっている。

前年と比べてみると、40歳以上の各年齢階級で実質減少となった。(表Ⅲ-2-2、図Ⅲ-2-6)

表Ⅲ-2-2 世帯主の年齢階級別衣類関係の支出金額(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	1,509	1,074	1,712	2,476	1,422	929
2017年	1,380	1,172	1,673	2,288	1,253	820
名目増減率(%)						
2017年	-8.5	9.1	-2.3	-7.6	-11.9	-11.7
実質増減率(%)						
2017年	-8.7	8.9	-2.5	-7.8	-12.1	-11.9

図Ⅲ-2-6 世帯主の年齢階級別衣類関係の支出金額(二人以上の世帯)



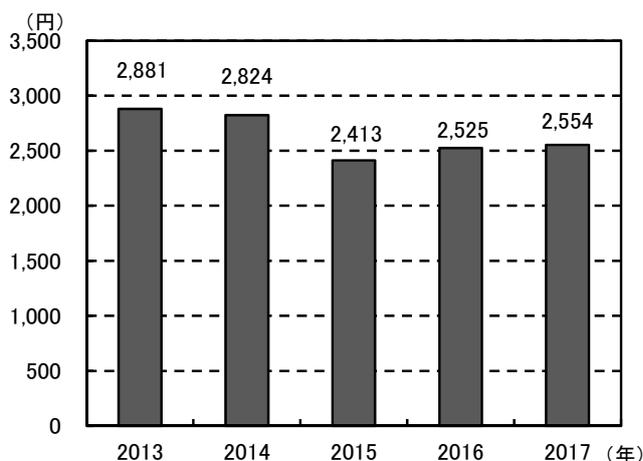
### 3 白物家電

二人以上の世帯における2017年の白物家電<sup>※7</sup>の支出金額は、1か月平均2,554円で、前年に比べ名目で1.1%の増加、実質で3.3%の増加となった。

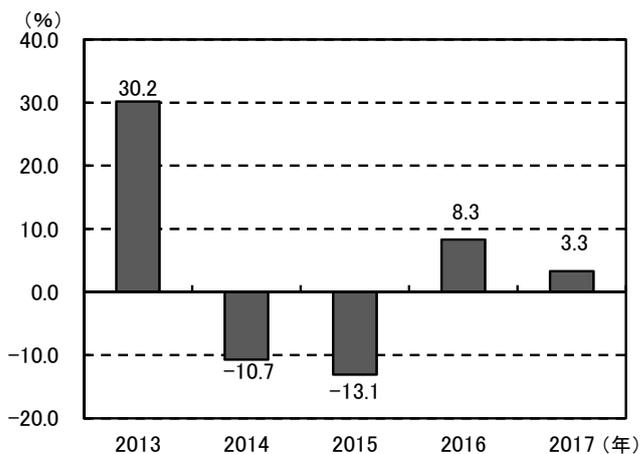
対前年実質増減率の推移をみると、2017年は前年に比べ増加幅は縮小したものの、2016年以降2年連続の実質増加となっている。

また、月別にみると、天候不順等により6月、8月及び10月は実質減少となったが、時間短縮や大容量等の高付加価値商品への買い替え需要等により、それ以外の月では実質増加となった。(図Ⅲ-3-1, 図Ⅲ-3-2, 図Ⅲ-3-3, 図Ⅲ-3-4)

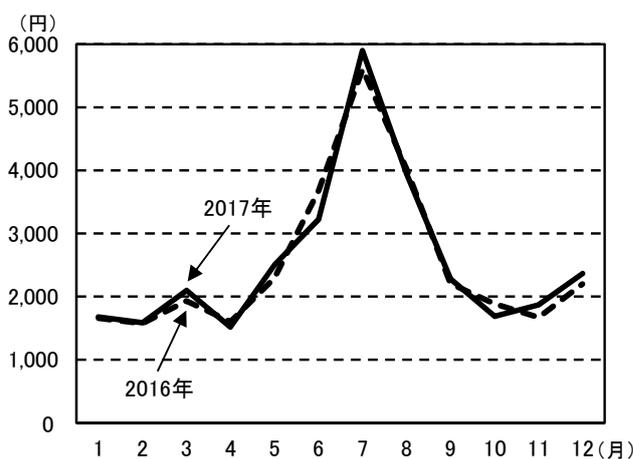
図Ⅲ-3-1 白物家電の支出金額の推移(二人以上の世帯)



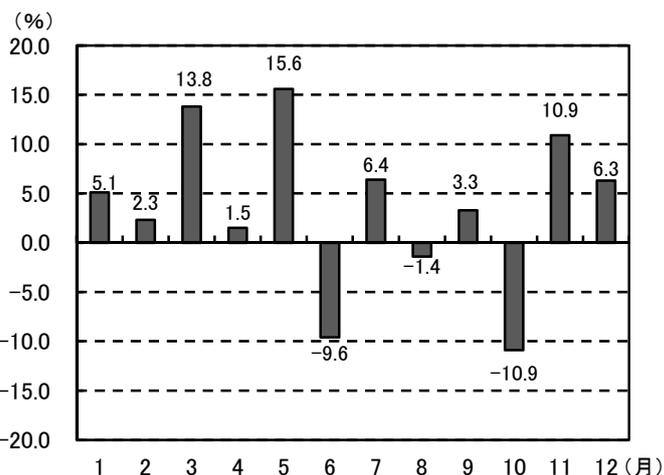
図Ⅲ-3-2 白物家電の支出金額の対前年実質増減率の推移(二人以上の世帯)



図Ⅲ-3-3 白物家電の月別支出金額の推移(二人以上の世帯)



図Ⅲ-3-4 白物家電の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯) - 2017年



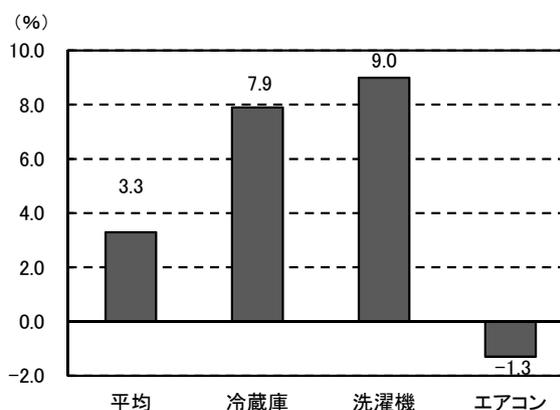
※7 「白物家電」とは、「冷蔵庫」、「洗濯機」及び「エアコン」の支出金額の合計をいう。

白物家電の支出金額を項目別に前年と比べてみると、洗濯機が9.0%の実質増加と最も大きく増加しており、次いで冷蔵庫が7.9%の実質増加となった。(表Ⅲ-3-1, 図Ⅲ-3-5)

表Ⅲ-3-1 白物家電支出金額(二人以上の世帯)

年次	合計	冷蔵庫	洗濯機	エアコン
月平均額(円)				
2016年	2,525	726	579	1,220
2017年	2,554	718	602	1,234
名目増減率(%)				
2017年	1.1	-1.1	4.0	1.1
実質増減率(%)				
2017年	3.3	7.9	9.0	-1.3

図Ⅲ-3-5 白物家電支出金額の対前年実質増減率(二人以上の世帯)-2017年



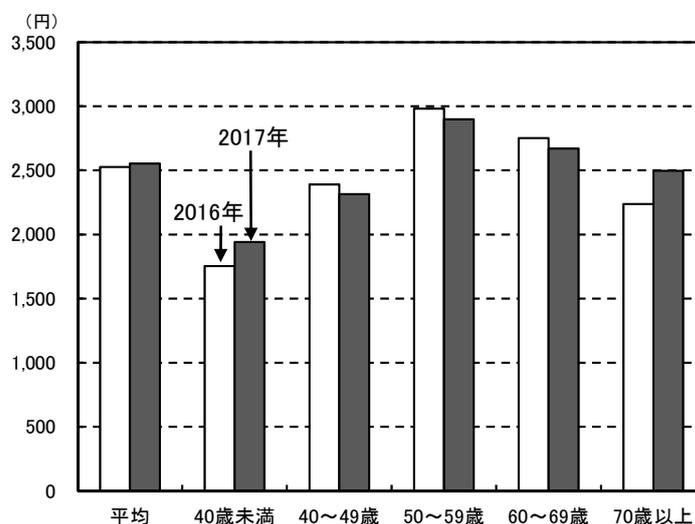
白物家電の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が2,897円で最も多く、次いで60～69歳(2,670円)、70歳以上(2,497円)などとなっている。

前年と比べてみると、40歳未満及び70歳以上の年齢階級で実質増加となった。(表Ⅲ-3-2, 図Ⅲ-3-6)

表Ⅲ-3-2 世帯主の年齢階級別白物家電の支出金額(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	2,525	1,753	2,390	2,981	2,751	2,237
2017年	2,554	1,941	2,314	2,897	2,670	2,497
名目増減率(%)						
2017年	1.1	10.7	-3.2	-2.8	-2.9	11.6
実質増減率(%)						
2017年	3.3	13.1	-1.1	-0.7	-0.8	14.0

図Ⅲ-3-6 世帯主の年齢階級別白物家電の支出金額(二人以上の世帯)



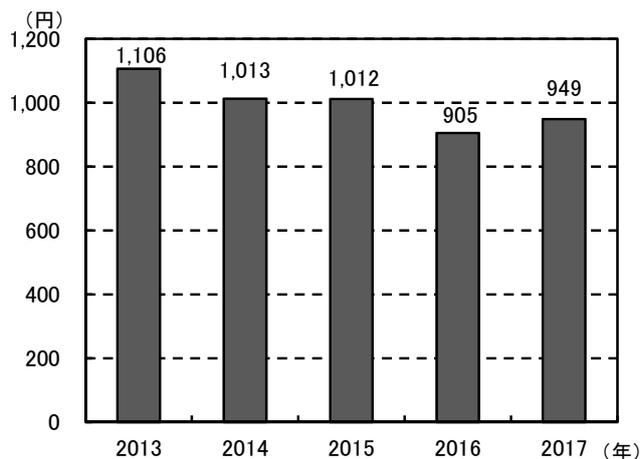
#### 4 黒物家電

二人以上の世帯における2017年の黒物家電<sup>※8</sup>の支出金額は、1か月平均949円で、前年に比べ名目で4.9%の増加、実質で7.6%の増加となった。

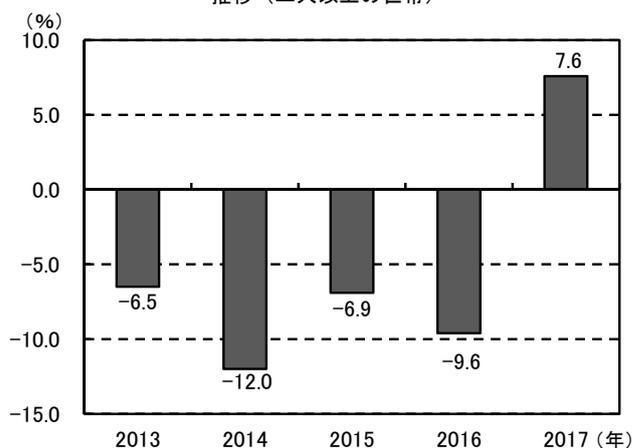
対前年実質増減率の推移をみると、2011年以降実質減少となっていたが、2017年は7年ぶりに実質増加に転じた。

また、月別にみると、3月、4月、6月及び11月を除く各月で実質増加となった。(図Ⅲ-4-1、図Ⅲ-4-2、図Ⅲ-4-3、図Ⅲ-4-4)

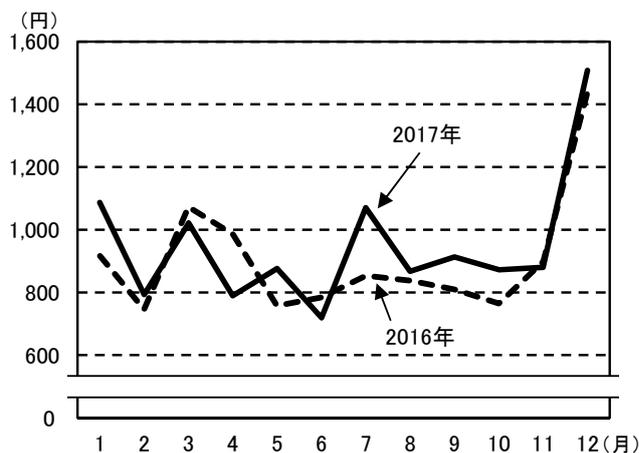
図Ⅲ-4-1 黒物家電の支出金額の推移(二人以上の世帯)



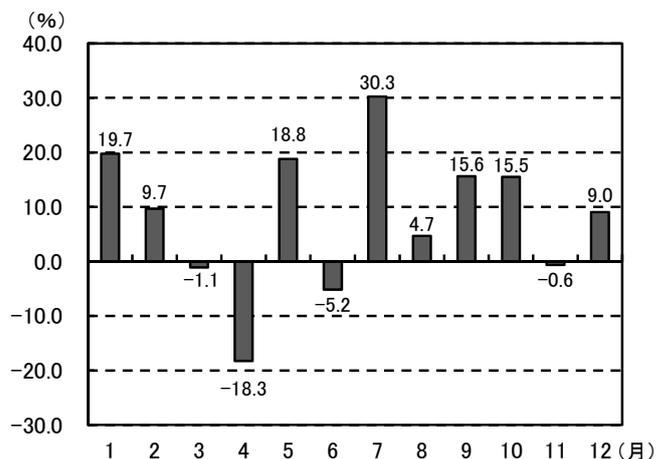
図Ⅲ-4-2 黒物家電の支出金額の対前年実質増減率の推移(二人以上の世帯)



図Ⅲ-4-3 黒物家電の月別支出金額の推移(二人以上の世帯)



図Ⅲ-4-4 黒物家電の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯) -2017年



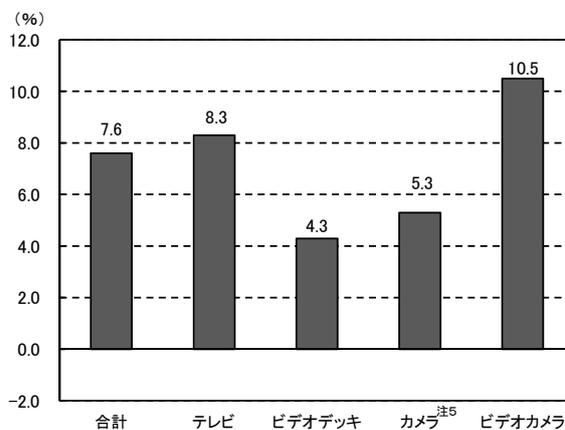
※8 「黒物家電」とは、「テレビ」、「ビデオデッキ」、「カメラ(交換レンズのみを含む。使い捨てのカメラは除く)」及び「ビデオカメラ」の支出金額の合計をいう。

黒物家電の支出金額を項目別に前年と比べてみると、ビデオカメラが10.5%の実質増加と最も大きく増加しており、次いでテレビが8.3%の実質増加となるなど、全ての項目で実質増加となった。(表Ⅲ-4-1, 図Ⅲ-4-5)

表Ⅲ-4-1 黒物家電支出金額(二人以上の世帯)

年次	合計	テレビ	ビデオデッキ	カメラ <sup>注5</sup>	ビデオカメラ
月平均額(円)					
2016年	905	542	167	156	40
2017年	949	565	170	175	39
名目増減率(%)					
2017年	4.9	4.2	1.8	12.2	-2.5
実質増減率(%)					
2017年	7.6	8.3	4.3	5.3	10.5

図Ⅲ-4-5 黒物家電支出金額の対前年実質増減率(二人以上の世帯)-2017年



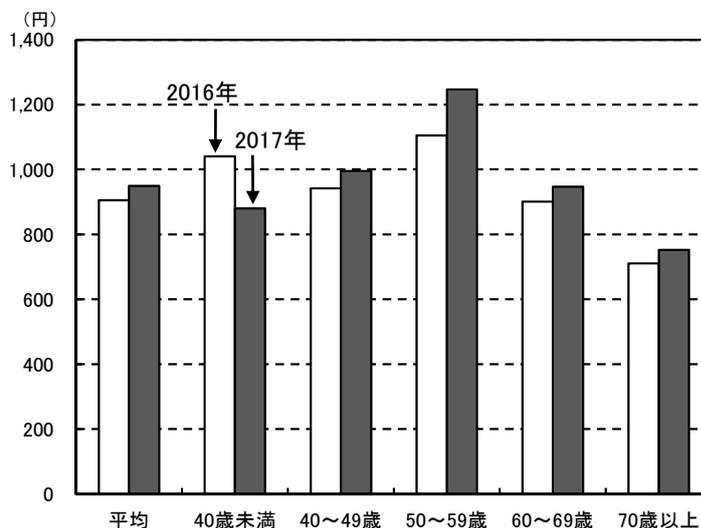
黒物家電の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1,247円で最も多く、次いで40～49歳(995円)、60～69歳(947円)などとなっている。

前年と比べてみると、40歳未満を除く各年齢階級で実質増加となった。(表Ⅲ-4-2, 図Ⅲ-4-6)

表Ⅲ-4-2 世帯主の年齢階級別黒物家電の支出金額(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	905	1,040	942	1,105	901	710
2017年	949	880	995	1,247	947	752
名目増減率(%)						
2017年	4.9	-15.4	5.6	12.9	5.1	5.9
実質増減率(%)						
2017年	7.6	-13.2	8.3	15.8	7.8	8.6

図Ⅲ-4-6 世帯主の年齢階級別黒物家電の支出金額(二人以上の世帯)



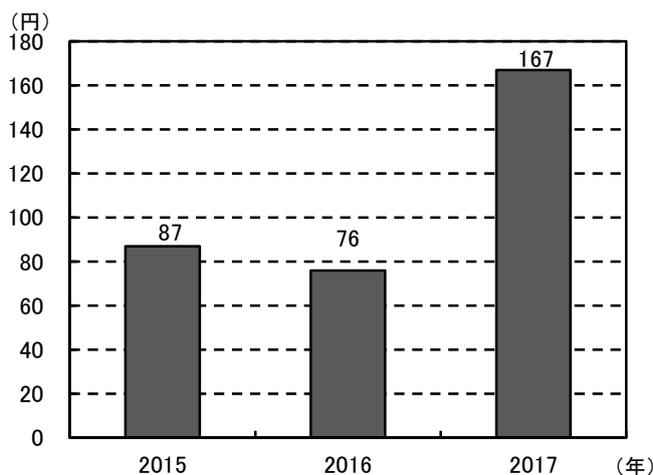
注5 カメラ：交換レンズのみを含む。使い捨てのカメラは除く。

### 5 ゲーム機（ソフトは除く）

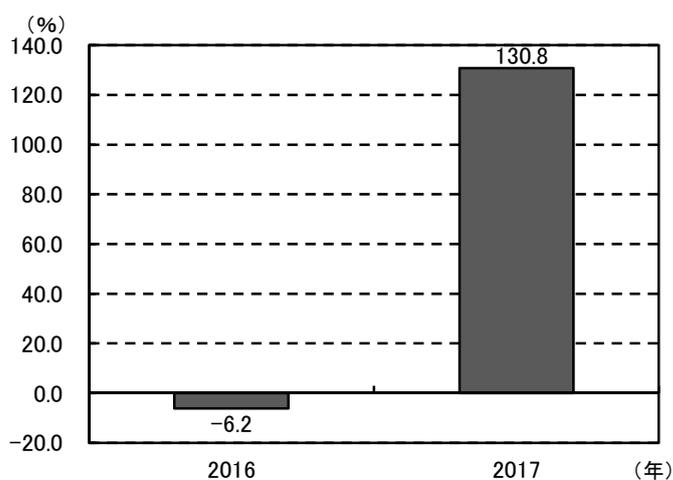
二人以上の世帯における2017年のゲーム機（ソフトは除く）の支出金額は、1か月平均167円で、前年に比べ名目で119.7%の増加、実質で130.8%の増加となった。

また、月別にみると、1月及び2月は実質減少となったが、3月に発売された新型家庭用ゲーム機の売れ行きが好調であったこと等により、3月以降は全ての月で実質増加となった。（図Ⅲ-5-1、図Ⅲ-5-2、図Ⅲ-5-3、図Ⅲ-5-4）

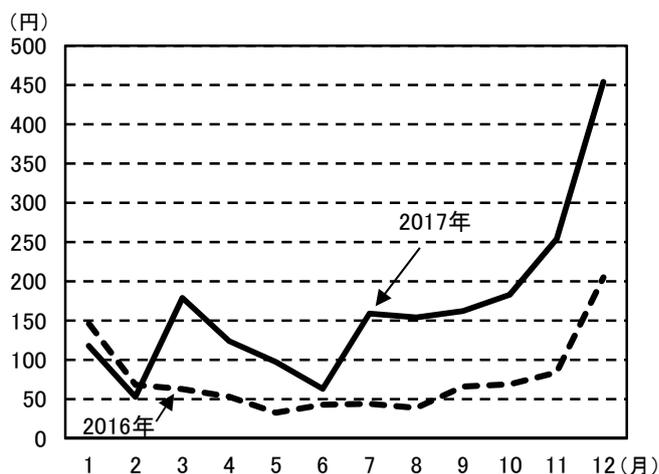
図Ⅲ-5-1 ゲーム機（ソフトは除く）の支出金額の推移（二人以上の世帯）



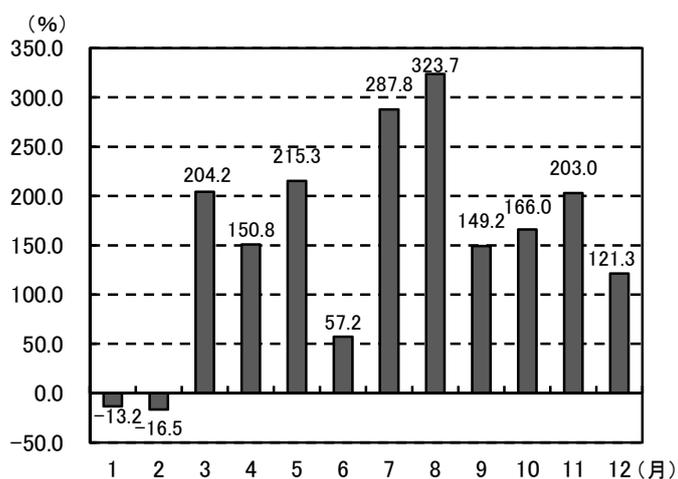
図Ⅲ-5-2 ゲーム機（ソフトは除く）の支出金額の対前年実質増減率の推移（二人以上の世帯）



図Ⅲ-5-3 ゲーム機（ソフトは除く）の月別支出金額の推移（二人以上の世帯）



図Ⅲ-5-4 ゲーム機（ソフトは除く）の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯）-2017年



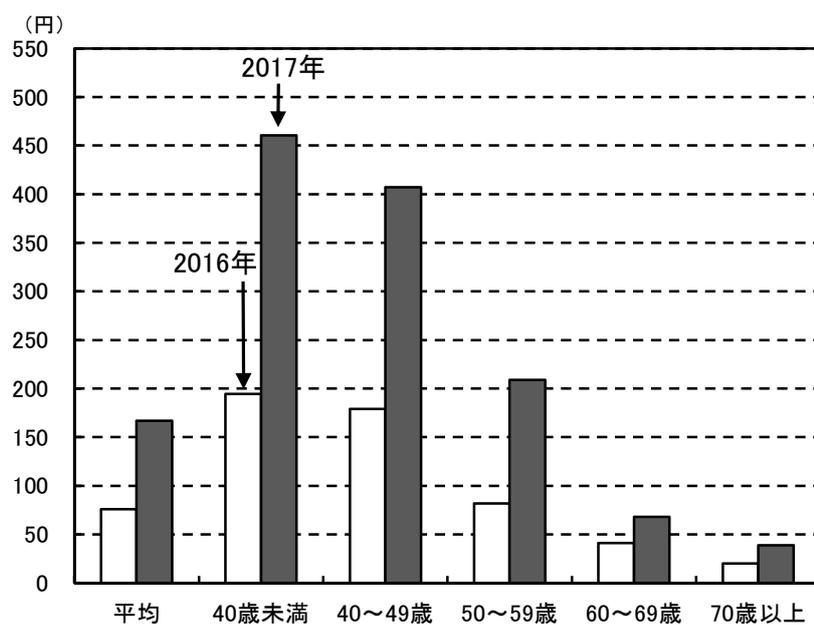
ゲーム機（ソフトは除く）の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、40歳未満が461円で最も多く、次いで40～49歳（407円）、50～59歳（209円）などとなっている。

前年と比べてみると、全ての年齢階級で実質増加となった。（表Ⅲ－5、図Ⅲ－5－5）

表Ⅲ－5 世帯主の年齢階級別ゲーム機（ソフトは除く）の支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	76	195	179	82	41	20
2017年	167	461	407	209	68	39
名目増減率(%)						
2017年	119.7	136.8	127.4	154.9	65.9	95.0
実質増減率(%)						
2017年	130.8	148.7	138.9	167.8	74.3	104.8

図Ⅲ－5－5 世帯主の年齢階級別ゲーム機（ソフトは除く）の支出金額（二人以上の世帯）



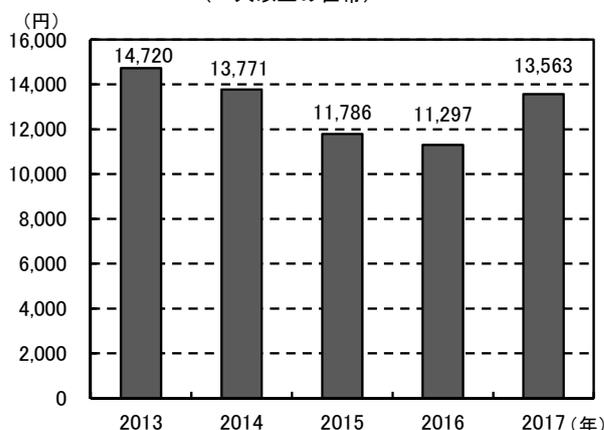
## 6 自動車購入（新車）

二人以上の世帯における2017年の自動車購入（新車）の支出金額は、1か月平均13,563円で、前年に比べ名目で20.1%の増加、実質で20.0%の増加となった。

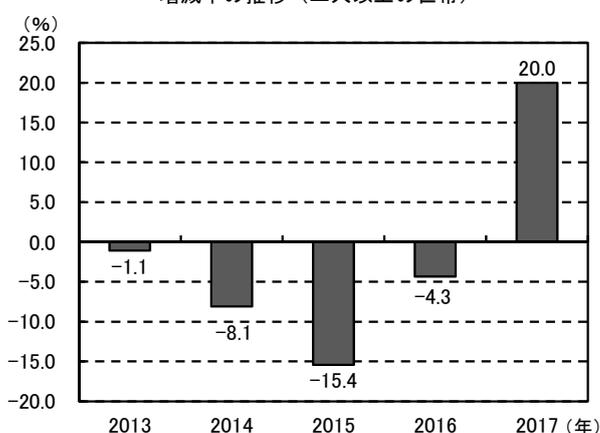
対前年実質増減率の推移をみると、2013年以降実質減少となっていたが、2017年は5年ぶりに実質増加に転じた。

また、月別にみると、2016年4月に発覚した軽自動車の燃費データ不正問題の影響の反動等により、1月から9月までは実質増加となったが、2017年9月に発覚した大手自動車メーカーの無資格者による検査問題の影響等により、10月及び12月は実質減少となった。（図Ⅲ-6-1、図Ⅲ-6-2、図Ⅲ-6-3、図Ⅲ-6-4）

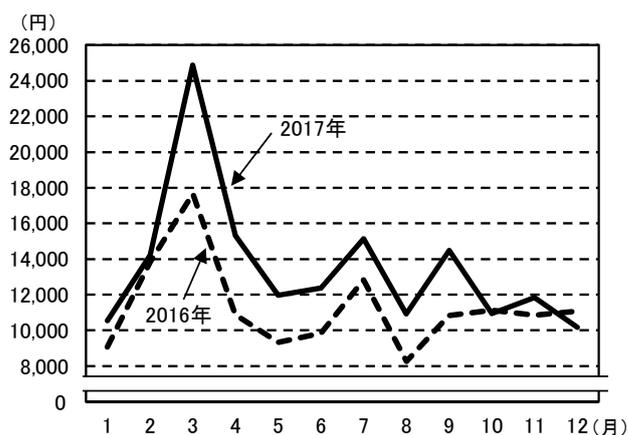
図Ⅲ-6-1 自動車購入（新車）の支出金額の推移  
（二人以上の世帯）



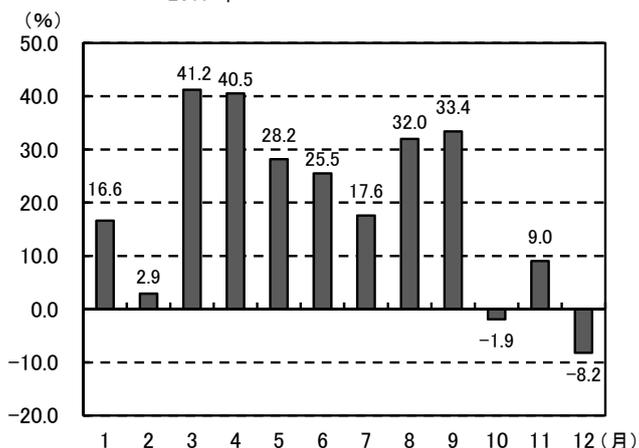
図Ⅲ-6-2 自動車購入（新車）の支出金額の対前年実質増減率の推移  
（二人以上の世帯）



図Ⅲ-6-3 自動車購入（新車）の月別支出金額の推移  
（二人以上の世帯）



図Ⅲ-6-4 自動車購入（新車）の月別支出金額の対前年同月実質増減率の推移  
（二人以上の世帯）  
-2017年



自動車購入（新車）の支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が18,683円で最も多く、次いで60～69歳（15,662円）、40～49歳（13,995円）などとなっている。前年と比べてみると、全ての年齢階級で実質増加となった。（表Ⅲ－6，図Ⅲ－6－5）

表Ⅲ－6 世帯主の年齢階級別自動車購入（新車）の支出金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2016年	11,297	12,425	11,854	16,018	11,191	7,448
2017年	13,563	13,438	13,995	18,683	15,662	7,724
名目増減率(%)						
2017年	20.1	8.2	18.1	16.6	40.0	3.7
実質増減率(%)						
2017年	20.0	8.1	18.0	16.5	39.9	3.6

図Ⅲ－6－5 世帯主の年齢階級別自動車購入（新車）の支出金額（二人以上の世帯）

